## どんな子みっけ?

梅雨明けをしたような連日の猛暑! 40℃近い暑さの中で、子どもたちは というと…さすがに「お外で遊びた い!」と言う声は少なく、30分だけ 遊んで帰ってくるといった毎日です。



そんな暑さの中、先日は 個人面談にいらしていただ きありがとうございまし

た。先生たちは、お子さんが幼稚園 で、おトイレが出来るようになったこ とや縄跳びを跳べるようになったこ と、給食を完食できるようになった etc...お子さんの急成長!の様子をお 伝え出来る喜びを味わいつつ。その一 方で、お母さま方からのお話を伺って いると、お家では嫌な事があると泣い たり、言葉遣いが乱暴になるとか、野 菜を食べなくて困るetc...幼稚園とお 家とで、お子さんの姿はかなり違うよ うです。そして、「幼稚園で頑張って る分、お家では仕方ないんですよね」 というガマンの声。では、夏休みに入 れば、お母さんのガマンはスッキリ解 消となるでしょうか?

お家では甘えもあって、お子さんが 頑固に嫌がったり、泣いて手が付けられなくなる状況もあるだろうとお察し します。でも、生きていく上で、イヤ だからと言って乱暴な振る舞いをしたり、イヤだからやらないは通用しませ ん。そして、"仕方ない"という受け 止めが、子どもたちの成長のチャンス を妨げているかもしれません。

というのも…。毎年、実習生がクラスに入ると、子どもたちの様子が変化することがあります。それまでは先生に、「お弁当、全部食べたよ!」と報告をしに来ていた子が、実習生が来た途端に、「食べられない」と言いだし、何と答えたらいいか迷う実習生を前に、さらには泣いて見せたりして…わかりやすく変化します。その姿は、

"どこまで甘えさせてくれるか?"と 試しているかのようにも見えるので す。そんな時先生は、「〇ちゃんは、 いつも全部食べられるものね。だって お姉ちゃんだもの!」と、完食を信じ て背中を押します。すると、何事もな かったようにペロッと食べて、得意げ な顔で空っぽのお弁当を見せに来たり するのです。子どもって大人をよく見 ていて、とても鋭い!のです。

このように、得意げな姿も甘えて泣いたりする姿も、どちらも子どもらしい姿ではありますが、前者の方が、親子できっと嬉しいはず!先生たちが面談でお話したお子さまの急成長を信じて、"仕方ない"ではなく背中を押し

てみて下さい。きっと、お母さんのガマンが少し解消できるでしょう。ご家族で良い夏休みをお過ごしください!



「こんな」は、ようちえんで起こる こんなとき・こんなこと・こ~んなに!を 折々お届けします。

#### 口頭伝達!?





お昼寝中!? いえいえ・・・ 目をつぶって一生懸命!七夕の願 いごとをする年少組。

半日保育の日。研修会に参加する為に、着替えをして急いで門に走って行こうとすると、バスを待っている年少組の女の子に「先生どこ行くの?」と、声を掛けられました。「お勉強行ってくるね!」と答えて足早に通り過ぎると、「いってらっしゃい!」と送り出してくれました。

すると次の瞬間、「先生お弁当に行くんだって!」とMちゃん。その声は隣の子に伝わり、またそれが別の子に、 "お弁当を食べに出掛ける"という誤情報は、どんどん広がっていきそうだったので、慌てて戻り、「先生これから、お勉強をしに行くのよ!いこと教えてもらったら、明日お話のでした。それにしても、上手に口頭伝達ができること!と年少組の様子に感心したのでした。

#### せっとく合戦!

**华中**组



「梅ジュース屋さんオープンします!」ポスターを持って宣伝活動をする年中組。

ある朝、玄関で泣いている男の子がいました。傍にいた子たちが心配して「どうしたの?」と、声を掛けますが、聞かれると余計に涙が出てしまいます。そのうちに、プールバックを持って泣いているのに気づき、"プールが嫌なんだな"と察したようで、みんなの説得が始まりました。

「ヘルパー付けるから溺れないよ」 「怖い時はコーチに言えばいいんだよ!」etc...そして、同じクラスの男の 子が、「みんなが一緒だから大丈夫だよ!」と言い出し、「うちが助けてあ げるから泣かない!」と言われ、一緒 にお部屋に行ったのでした。

"○○がイヤ"という気持ちは、どの子もみんな通る道。そして"やってみたら大丈夫!"という経験をしたからこそ、説得力があるのかもしれません。

# た。



『紙ずもう』をみんなで観戦!



玄関に飾られた、歌の歌詞を見ながらうたう年中さん!

### 一丁前な姿



年中さんの梅ジュースを飲んで・・・「元気出たー!」 と踊りだす年長組。



ある日、年長組のMちゃんが年少さんを連れて、「年少さんすごいんだよ!」と、七夕の笹飾りを見せに来てくれました。

毎年、年長組が七夕先生になって、 輪つなぎや三角つなぎの作り方を、年 中・年少さんに教えてあげるのが恒例 です。小さい子たちは、折り紙を折っ たり切ったりするのはまだ難しいの で、年長組が殆どをやってあげ、年少 さんは、専らノリを付けて貼るだけな のですが…。「すごい上手!」と自分 の事のように喜んいました。きっと、 一生懸命手取り足取りやってくれたの だろうと想像しながら、「Mちゃんが 教えるの上手だったのね!」と言う と、「それだけじゃないんだよ。お弁 当の支度だって一人でできるように なったし、お片付けはまだやらないこ とがあるけど、お帰りの支度だって出 来るようになったんだもん。すごい よ!」と…。そして極めつけは、「も う一丁前だねぇ!」と言って年少さん の頭を撫でてあげるのでした。

ついこの間まで、よくイヤイヤして 泣いていたなぁ~と思い出しながら、 「Mちゃんも一丁前になったね!!」

と、頭をい~っぱい撫でてあげたのでした。